

# 指扇小だより

教育目標 **やり抜く子の育成**

かしこく やさしく たくましく あたたかく

令和7年8月27日 第5号

さいたま市立指扇小学校

〒331-0078

さいたま市西区西大宮1丁目49-6

電話 048-623-0133 FAX 048-624-2200

<https://sashiogi-e.saitama-city.ed.jp>

## 「備え」の大切さ

教頭 南部 明生

さあ、いよいよ指扇小学校2学期が始まりました。39日間の長い夏休み、子どもたちは「今年の夏」にしか経験できないそれぞれの思い出や体験があったことでしょう。指扇まつりの吹奏楽部の演奏も素晴らしかったです。休み明け、子どもたちの元気そうな顔を見ることができて本当に嬉しいです。

今年の夏も記録的な猛暑が続き、北陸や九州を中心として、全国的に大雨による災害が多く発生しました。このような報道を見る度に、「備え」の大切さを強く感じます。

指扇小学校でも、今年1月より仮設校舎へ移動し、避難訓練を始めとした児童を含む防災対応を行っています。また、今後も有事を想定した訓練や地域と連携した避難所開設訓練、日々の学校環境の安全点検等、防災や防犯、事故防止も含めた安全に関する取組を継続的に計画しています。

これらの計画や訓練、点検は「備え」です。「もし、何かが起こったら」「被害を食い止めるために」という事態を前提にして、人的、物的の両面で入念に準備を行うことにより、有事の際にも落ち着いて判断、行動できるようにするのです。「備え」がなければ、混乱の中で実際に対応することは非常に難しいでしょう。

この「備え」というのは、決して災害、安全等に限ったものではありません。日常の学校生活や日常生活の中でも大切なことです。

例えば、家庭で明日の学校の用意をするときに、持ち物がしっかり揃っているかどうかで、明日の授業で困ることなく過ごせるかが決まります。学校の休み時間に少し早く席について、次の時間の学習の用意をしておくことで、学習にスムーズに入ることができます。

更に、その「備え」を確実に無理なく行うためには、日頃から当たり前の整理整頓等、身の回りの環境を整えておくことで、慌てることなく物の「備え」がしやすくなり、その結果として、「安心」という心の「備え」もできるようになります。また、学習に関係のない物を持たないことも、集中するための重要な環境づくり、「備え」の一つです。

子どもたちには、2学期のスタートということで、ぜひ、身の回りの環境を整えることによる「備え」の大切さをしっかりと意識させていきたいと思います。2学期は、日々の学習に加えて、校外学習や修学旅行、運動会等、学校行事も盛り沢山です。毎日を子どもたち一人ひとりにとって「よい経験」「よい思い出」にしてもらいたい。その時に物的、心的両面の「備え」ができていれば、きっと毎日の成功体験につながっていくだろうと思います。子どもたちには、1学期の経験や反省を生かして、そこに夏休みの成長もプラスして、この2学期で大きく飛躍してほしいと願っています。

ぜひ、御家庭でも合わせて「備え」の大切さについて意識していただければ幸いです。

しばらくはまだ暑い日が続きそうですが、保護者、地域の皆様につきましては、2学期も引き続き本校の教育活動への御理解、御協力をよろしくお願いいたします。